

土石防だより

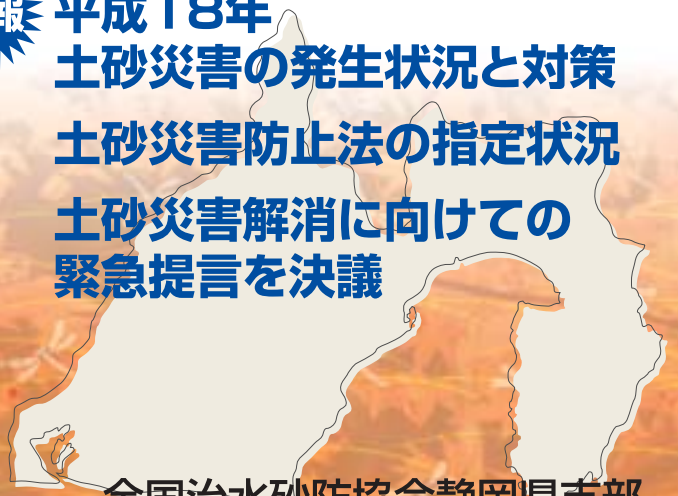


秋彩（朝霧高原）

平成18年土石災害の発生状況と対策	2
土石災害防止法の指定	
土石災害解消に向けての緊急提言を決議	3
土石災害防止講習会の開催	
河内沢川 災害関連緊急砂防事業採択される	4
滝沢地すべり活動が鎮静化	5
福岡県・大分県砂防事業視察	6
インフォメーション	8
イベントのお知らせ	10
石碑を訪ねて	11
募集・お知らせ	12



**平成18年
土石災害の発生状況と対策
土石災害防止法の指定状況
土石災害解消に向けての
緊急提言を決議**



全国治水砂防協会静岡県支部

土砂災害の発生状況と対策

県内では、6月16日や7月16日などの梅雨前線豪雨や、8月9日の台風7号の豪雨により、9月末現在、26件（土石流2件、地すべり1件、がけ崩れ23件）の土砂災害が発生しましたが、幸いにして人的被害は発生していません。

このうち、災害関連緊急事業として、浜松市龍山町の河内沢川で砂防事業1件が採択され（事業費約3億9千万円）、砂防えん堤工や流木止工を実施する予定です。

全国の主な土砂災害としては、6月や7月の梅雨前線豪雨及び8月の台風7号や台風10号により、8月末現在、1,203件（土石流130件、地すべり177件、がけ崩れ896件）の土砂災害が発生し、死者及び行方不明者21名、負傷者19名の被害が発生しています。

●8月9日台風7号で発生したがけ崩れ



岩下小山田(下田市)

●崩壊土砂をストップ



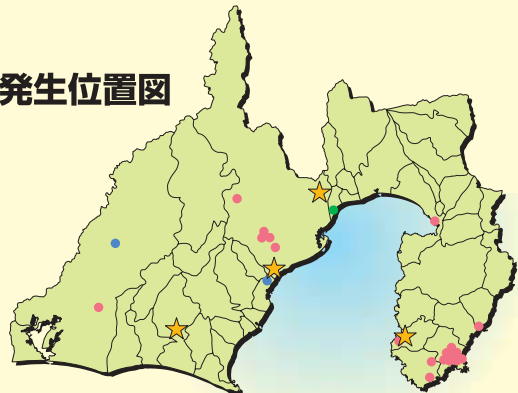
9月21日小河内屋敷(静岡市清水区)がけ崩れで発生した崩壊土砂を擁壁が受け止めました。



宮ノ前(下田市)

■土砂災害発生位置図

- 〈凡 例〉
- がけ崩れ
- 土石流
- 地すべり
- ★ 防止施設が効果を発揮した箇所



土砂災害防止法の指定状況

県では、土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法に基づく区域指定を行い、土砂災害の危険を周知し、大雨時の住民の早期避難を促しています。現在までの指定数は228箇所となり、今年度は、新たに沼津市や富士市など7市町で指定を行う予定です。会員の皆様の御協力をよろしくお願い致します。

市 町	土石流		急傾斜		合 計	
	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
下 田 市	3	3	5	5	8	8
熱 海 市		1	13	13	13	14
函 南 町			4	4	4	4
三 島 市			29	30	29	30
富士宮市	1	3			1	3
静 岡 市	6	12	21	21	27	33
掛 川 市	13	14	34	34	47	48
浜 松 市	14	67	21	21	35	88
計	37	100	127	128	164	228

■全国の指定状況

9月末現在、44都道府県で指定が開始されており、鹿児島県(3,747箇所)、広島県(2,079箇所)、長野県(1,798箇所)が上位3県となっています。

平成18年9月末現在

土砂災害解消に向けての緊急提言を決議

緊急提言

わが国では毎年千件を超える土砂災害が発生している。今年も既に300件近い土砂災害が発生している。特に7月18日からの梅雨前線豪雨では死者・行方不明者18名、災害発生件数250件にのぼった。

奪い人命と貴重な財産が土砂災害で失われるたびに、砂防関係施設の実効と警戒避難の重要性が声高に叫ばれる。しかしながら、今回の災害でも砂防関係施設が整備されていない箇所や犠牲者がでており、十分な対策がなされていないといわざるを得ない。

国を安全に保つことはもちろんのこと、21万箇所を数える土砂災害危険箇所の整備率が未だ約2割という厳しい状況から、国民の生命・財産を守り、地域の安全・安心を確保するため、下記に示す提言を緊急に行うものである。

提言

- 近年、記録的豪雨や地震等による大規模崩壊や土石流等が多発している。このような土砂災害から地域の負傷を防ぎ、人命を守る砂防関係施設の整備は極めて大きなものがある。よって、施設整備を推進するため、砂防関係予算の所要額を確保すること。
- 土砂災害から人命を守るためには、危険な区域の明示、警戒行為の制限、警戒・避難体制の整備が極めて重要である。土砂災害防止法による土砂災害警戒区域等の指定を急ぐとともに、市町村長が警戒・避難の指示・勧告を速やかに行えるよう土砂災害に関する情報伝達を充実させること。

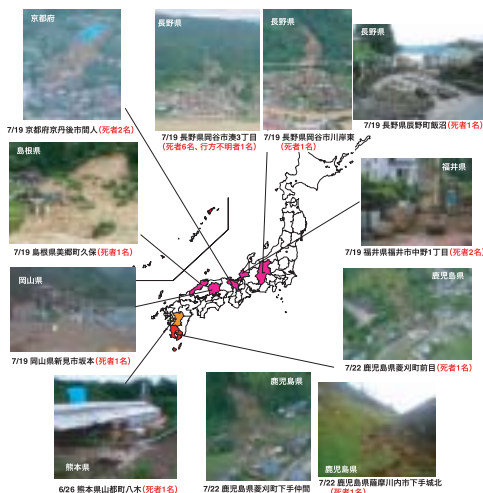
以上、緊急提言する。

平成18年7月26日

社団法人 全国治水砂防協会
会長 綿貫民輔

社団法人全国治水砂防協会では、平成18年7月の梅雨前線豪雨等による被害の実態に鑑み、平成18年7月26日に開催された理事・顧問会議にて、土砂災害の解消に向けての緊急提言を決議し、直ちに国会及び政府に要望活動を行いました。

土砂災害の解消を目指して



社団法人全国治水砂防協会

土砂災害防止講習会の開催

砂防室では、住民の土砂災害防止への理解を深めていただくため、市町で開催される防災講習会等へ職員を派遣しています。9月末現在、9市町で10回の講習会を開催いたしました。受講された皆様には、自宅周辺で土砂災害の前兆現象や被害を見つけたら、情報を県土木事務所や市町役場に通報していただく「防災連絡員」への登録をお願いしています。現在約2,500人が登録していただき、「砂防だより」を送付する等の情報提供をしております。

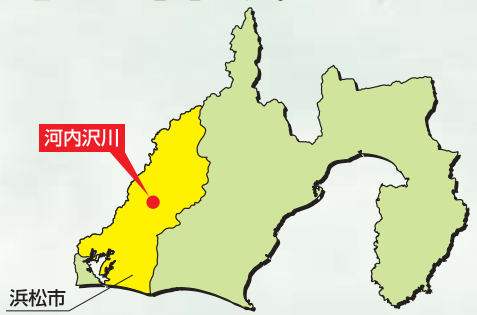
ご希望の市町がありましたら、砂防室へお問い合わせ下さい。

	市 町	開催日	会 場	自主防災組織等の講習会名	出席者
1	掛川市	5月30日(火)	掛川市役所大東支所	防災会長会議	80名
2	掛川市	5月31日(水)	掛川市役所	防災会長会議	200名
3	藤枝市	6月 8日(木)	藤枝市役所	自主防災会、初級研修会	63名
4	静岡市	6月 8日(木)	静岡市大和田地区集会場	全国統一防災訓練後の防災研修	30名
5	牧之原市	6月14日(水)	牧之原市役所相良庁舎	自主防災会研修会	100名
6	磐田市	6月29日(木)	磐田市役所豊岡支所	自治会長(自主防災会長)会議	37名
7	伊東市	7月 5日(水)	伊東市役所	自主防災打合せ会	150名
8	伊豆市	7月25日(火)	伊豆市役所天城支所	天城地区自主防災会会長会議	30名
9	芝川町	8月10日(木)	芝川町役場防災センター	総合防災訓練説明会	58名
10	裾野市	9月 3日(日)	裾野市今里本村集会所	今里地区 自主防災会	50名
計					798名

河内沢川

災害関連緊急砂防事業採択される

7月16日に、浜松市龍山町瀬尻の河内沢川において土砂崩れが発生し、崩壊した土砂の一部が溪流内に流入しました。土砂崩れの規模はおよそ幅50m、長さ200m、崩壊土砂量は6,000m³で、今後の豪雨により下流に土砂が流出した場合、国道152号や龍山中学校に被害を及ぼす恐れがあるため、土石流センサーによる土石流の発生監視や堆積土砂の除去など、応急対策を実施するとともに、災害関連緊急砂防事業により恒久的な土石流対策を実施します。



■災害関連緊急砂防事業の概要

事業内容／砂防えん堤工
高さ 12.0m、堤長 80.0m
流木止工 1基
事業費 390百万円



土石流センサー切断時には電話にて龍山中学校などの関係機関へ通報します。

土石流センサー切断時には回転灯が作動し(国)152号は通行止めとなります。

滝沢 地すべり活動が鎮静化!!

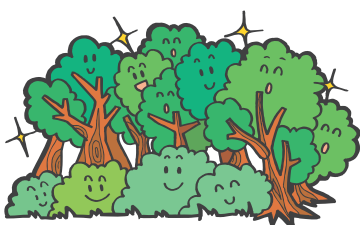
～ 主要な対策工事が完成～



平成17年7月の梅雨前線豪雨により、藤枝市滝沢地区で発生した地すべりは、災害関連緊急地すべり対策事業として実施した主要な地すべり対策工事が完成しました。

地すべり活動は沈静化し、今年の梅雨の豪雨でも地すべりの変状は発生していません。

引き続き、崩壊した山腹斜面の緑化対策などの工事を実施し、地すべり対策を完了する予定です。



地すべり対策工事の施工状況



会員（市町長）による砂防視察研修

福岡県・大分県の砂防事業視察

平成18年8月24～26日に、福岡県・大分県の砂防事業を視察しました。今回の視察は、両県の砂防課の協力を得て実施したもので、原田副支部長(袋井市長)を団長に23名が参加しました。

この視察は、当協会が毎年実施している事業で、会員(市町長)により砂防関係事業先進地を視察し、生きた教訓により砂防事業の周知・普及を図ろうとするものです。

視察日は好天に恵まれるとともに、両県担当者や市町の関係各位の熱心な説明により、有意義なものとなりました。参加者並びに御案内いただきました皆様方には心より御礼申し上げます。



九重町役場前にて



参加市町等

袋井市、裾野市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、函南町、小山町、芝川町、富士川町、由比町、森町、下田土木事務所、沼津土木事務所、御前崎土木事務所、砂防室（事務局）

日程

8月24日(木) 福岡市内宿舎集合
8月25日(金) 宇美川砂防激甚災害対策特別緊急事業（福岡県宇美町）
原川砂防激甚災害対策特別緊急事業（福岡県太宰府市）
九重町役場（大分県九重町）
春井手川災害関連緊急砂防事業（大分県九重町）
8月26日(土) 由布市振興局（大分県由布市）
博多駅解散

● 宇美川砂防激甚災害対策特別緊急事業／福岡県糟屋郡宇美町 ● 原川砂防激甚災害対策特別緊急事業／福岡県太宰府市

平成15年7月18日夕方から19日にかけて、福岡県中部で総雨量300ミリ以上を記録し、狭い範囲で土砂災害や河川護岸の決壊等が集中的に発生しました。宇美川上流域では時間雨量101ミリを記録するなどの集中豪雨により土石流が発生しました。また、宇美町の西側にある太宰府市原川では1名の尊い人命が犠牲となりました。



福岡県担当者の説明（宇美川）



宇美川砂防えん堤にて

● 九重町役場訪問／大分県玖珠郡九重町
 ● 春井手川災害関連緊急砂防事業／大分県玖珠郡九重町

平成17年7月8日から12日にかけて、九州南部に停滞した梅雨前線豪雨による土石流災害により大分県内で3名の尊い人命が奪われ、九重町でも大きな被害がありました。

春井手川では土石流が発生し、九州電力大岳地熱発電所が多大な被害を受け、砂防えん堤3基が災害関連緊急砂防事業に採択されましたが、現場は火山性のガスが噴出したり、地温100℃近くに達する高温帯による超軟弱地盤やコンクリートが劣化してしまう強酸性地帯などがあり、悪条件の中で工事が施工されていました。



九重町長の説明



春井手川1号床固工の施工現場



玖珠土木事務所長の説明

● 由布市振興局訪問／由布市役所湯布院庁舎

由布市の佐藤振興局長より、年間380万人もの人が訪れる湯布院が一貫して自然保護を基本にしながら気品のある温泉保養地として成立してきた歴史と現状そして未来について講演していただきました。

講演終了後は、佐藤局長と地元で温泉地や観光地を抱える参加者との活発な意見交換が行われました。



佐藤振興局長の講演



熱心に講演に聞き入る参加者の皆さん

参加者の声

■ 視察団 団長 副支部長 原田英之（袋井市長）

市町等砂防事業県外視察で、福岡県・大分県の土砂災害被災地及び復興状況について視察しました。連日晴天に恵まれ、有意義な視察となりました。また、九重町ではご多忙中にも関わらず町長自らご説明をいただき、由布市では由布院振興局長にご講演をいただきました。関係者の皆様の多大なご協力とご配慮をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

今回の視察を今後の地域づくりに役立ててまいりたいと思います。

団員各位のご協力により全員無事で全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝しております。

「土砂災害防止法」に対応した急傾斜施設設計の説明会

7月7日に、「土砂災害防止法」に対応した急傾斜施設設計の説明会を静岡市内で開催し、県や市町職員及びコンサルタントの実務担当者が約180名参加しました。

砂防室の担当者が「土砂災害防止法」の取組みの状況、本年度より適用する「崩壊土砂による衝撃力と崩壊土砂量を考慮した擁壁工の設計」についての説明を行い、質疑応答では活発な意見交換が行われました。



望月砂防室長の挨拶

ジオフォーラム2006静岡の開催 ～全国治水砂防協会静岡県支部協賛～



事例発表の様子

9月28日に、「ジオフォーラム2006静岡」が静岡市内で開催され、「施工に伴う地質現象」をテーマに県とコンサルタントの技術者が約220名参加しました。

砂防室が昨年度モデル的に実施した「急傾斜地の崩壊箇所におけるSH型貫入試験」の事例発表や静岡大学里村幹夫教授による「東海地震の現状」と題した東海地震における観測や直前予測等についての特別講演が行われました。

由比地すべり対策事業推進期成同盟会総会の開催

7月13日に、平成18年度由比地すべり対策事業推進期成同盟会の総会が由比町役場で開催されました。総会には、来賓として中部地方整備局河川部の高橋広域水管理官が、静岡県からは永田土木部技監が出席されました。総会では、平成18年度計画案や予算案が承認され、また、石井富士砂防事務所長より、本年度の地すべり調査や工事内容等の事業計画が報告されました。



永田土木部技監の挨拶

由比地すべり対策検討部会の開催



藤田部会長の挨拶

9月7日に、平成18年度第1回由比地すべり対策検討部会が由比町町民センターで開催されました。検討部会では、平成18年8月までの地すべり調査結果及び大久保（東側）ブロックの地すべり解析結果の報告や地震解析のための調査計画についての提案があり、委員により活発な議論が行われました。また、山中（西側）ブロック及び蜂ヶ沢（中央）ブロックの調査ボーリングコアを観察し、すべり面等の確認が行われました。

土木施設長寿命化計画検討委員会の開催

7月11日に、平成18年度第1回土木施設長寿命化検討委員会が県庁で開催されました。

土木部では、管理する土木施設の増加に伴う維持管理費等の増大に対し、維持更新の平準化やコスト低減等を取り入れた合理的な管理方法等を平成15年度から委員会を設置し、検討しております。

本年度は砂防室の所管する急傾斜施設である「斜面」施設について、ガイドラインを策定する予定であり、委員会では斜面施設の機能や今後の検討内容について報告しました。

静岡県事業評価監視委員会の開催

8月29日に、平成18年度第3回事業評価監視委員会が県庁で開催されました。砂防関係事業の事後評価の対象は、砂防事業「小田瀬川（西伊豆町）」、急傾斜地崩壊対策事業「下峰No.2（河津町）」で、改善措置の必要性は特に認められないとの評価を受けました。

来年度は、地すべり事業「上村（浜松市水窪町）」の再評価を、また、砂防事業「麓川（富士宮市）」、地すべり事業「西渡（浜松市佐久間町）」の事後評価を実施する予定です。

湯舟川 砂防の役割を学ぼう「笑顔いっぱい大作戦」の開催

8月18日に、県民の日のイベントとして、伊豆市の湯舟川で、「笑顔いっぱい大作戦」を行いました。

これは、沼津土木事務所が中心となり、NPO「天城子どもネットワーク」の協力をうけ、次の世代を担う小学生を対象に開催したもので、子供たちや父兄など28名が参加しました。

土木事務所職員による、土砂災害の現象や砂防事業の役割についての説明の後、川遊びを行い、子供たちは笑顔いっぱいで、葉っぱの競争をしたり、木のお守りを作ったりと楽しい一日を過ごしました。



砂防の話しを聞く子供たちと父兄



葉っぱで競争をしたよ

桃沢川 「水と緑の杜公園☆ワンデーチャレンジ」開催される

9月9日に、長泉町の桃沢川で、ながいずみ観光交流協会主催の「水と緑の杜公園☆ワンデーチャレンジ」が開催され、190人を越える親子連れが参加し、沢登りや、魚のつかみどりなどを行い豊かな自然を満喫しました。

会場の桃沢川「水と緑の杜公園」は、自然環境の調和と水辺に親しめるように砂防施設が整備され、溪流周辺は長泉町で公園整備が行われています。

水と緑の杜公園の詳細は長泉町のホームページで紹介されています。



水辺で遊ぶ子供たち

アドレス http://japan.nagaizumi.org/kanko/kouen_03.html

市町職員研修会 <主催:砂防協会静岡県支部>

日 程	平成18年11月21～22日
場 所	長野県岡谷市の土石流災害現場等の視察と研修
参 加 者	市町砂防担当職員、県土木事務所砂防担当職員
申し込み方法	申し込み様式を砂防協会静岡県支部へFAXして下さい。 FAX.054-221-3564
問い合わせ先	砂防協会静岡県支部 TEL.054-221-3042



中央自動車道下流部での土石流の流下・堆積状況
(小田井沢川；国際航業(株)・(株)パスコ撮影)

地すべりフォーラム2007 in 由比

日 程	平成19年1月18～19日 (1) フォーラム 1月18日(木) 13:00～17:00 (2) 現地見学会 1月19日(金) 9:00～12:30
場 所	由比町町民センター、 薩埵峠周辺(直轄由比地すべり対策事業区域の見学)
概 要	「人々が行き交う町“由比”の暮らしを支える防災」をテーマに、地すべり災害の実態や地すべり対策事業等についての意見交換を行います。
参 加 者	防災関係者(国、都道府県、市町村)及び一般
参 加 費	フォーラム 無料 ※現地見学会 有料
申し込み方法	国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所ホームページにてご案内する予定です。 アドレス http://www.fujisabo.go.jp/
問い合わせ先	国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所 地すべり対策課 TEL.0544-27-5262



由比地すべり防止区域

大谷崩れ300年事業

日 程	平成19年10月28日(予定)
場 所	静岡市内
概 要	安倍川源流部の大谷崩れは宝永地震により発生し、平成19年に300周年を迎えます。崩れを克服する過程で育成された地域文化を世界に向けて発信するシンポジウムを行ないます。
参 加 者	防災関係者(国、都道府県、市町村)及び一般



静岡河川工事事務所提供

火山都市国際会議(宝永噴火300年)

日 程	平成19年11月25～26日(予定) ワークショップ、シンポジウム、現地見学会
場 所	富士山周辺
概 要	富士山宝永噴火300年を記念し、火山都市国際会議島原大会に引き続き開催され、海外における火山噴火時の減災への取り組みや宝永噴火災害の検証と今後の取り組みなどに関する意見交換を行ないます。
参 加 者	国内外の研究者、防災関係者(国、都道府県、市町村)及び一般



富士砂防工事事務所提供

石碑

をたずねて

〈vol.9〉

今回は、県の中中部、島田市伊久美の白井にある石碑をご紹介します。

同地区は昭和35年8月13日に集中豪雨があり、16名の方々が亡くられました。当時の新聞によれば、原因は山津波とされており、今で言う土石流ということになります。さらに、この復旧に来た陸上自衛隊富士学校の隊員1名が落石事故に遭い、殉職されました。これら2つの慰霊塔が白井と長島に建っています。被災からは長い年月が経ちましたがきれいに手入れがされていました。

白井の災害現場付近は、その後、地すべりが発生し、昭和61年に地すべり防止区域に指定され、対策工事が完了しています。



白井地区の被害状況（昭和35.8.13）



集中豪雨殉難者慰霊塔

●場 所…島田市白井 ●建立日…昭和41年12月



故陸士長 田上博樹慰霊之碑

●場 所…島田市長島 ●建立日…昭和39年11月

お知らせコーナー

土砂災害防止写真コンテスト

砂防施設のある風景、住宅や緑を守る砂防施設、崩壊地・土砂災害の状況、その他土砂災害防止に関連のあるものをテーマに写真を募集しています。



応募資格	制限はありません
サイズ	白黒、カラープリントとも四切りサイズ
締め切り	平成19年3月31日(消印有効)

〈お問合せ先〉

(社)全国治水砂防協会 写真コンテスト係
TEL (03) 3261-8386
詳しくはホームページ
<http://www.sabo.or.jp/> をご覧ください

2008 砂防カレンダー 「現場周辺の山・谷・川」写真コンテスト

砂防関係工事(砂防、地すべり、がけ崩れ対策など)現場やその周辺の仕事、暮らし、余暇活動、山、溪流、花、動物当をテーマに2008年砂防カレンダーの写真を募集しています。

応募資格	制限はありません
サイズ	カラープリントとも四切りサイズ
締め切り	夏の写真/受付終了 秋の写真/平成18年12月26日(消印有効) 冬の写真/平成19年 3月31日(消印有効) 春の写真/平成19年 6月30日(消印有効)

〈お問合せ先〉

NPO法人砂防広報センター TEL (03) 3459-1591
詳しくはホームページ
<http://www.sabopc.or.jp/> をご覧ください

土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

なお、入選発表及び表彰式は平成19年3月を予定しております。

【応募状況】

部門	小学生	中学生	合計
絵画	9	9	18
ポスター	24	44	68
作文	0	11	11
合計	33	64	97



- 11月 20日 東海地区全国治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(岐阜県)
21～22日 市町等砂防担当職員研修(長野県岡谷市ほか)
28日 全国治水砂防促進大会(東京都・砂防会館)
静岡県支部砂防関係事業促進要望

【表紙写真】



秋彩 〈朝霧高原〉
中島 信夫さん(焼津市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

編・集・後・記

8月24日～26日に行われた市町長等砂防事業県外視察に同行させていただきました。ご多忙中にも関わらず多数の会員の皆様にご出席をいただき無事視察を終えることができましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。静岡県の砂防事業の促進のため、更なる会員の皆様への情報提供へ取り組んで参りたいと思います。この「砂防だより」も御愛読いただけますようお願い申し上げます。

砂防室ホームページをご覧ください。「砂防だより」や「土砂災害危険箇所の位置図」などをご覧ください。アドレス <http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>